

講義名称	マクロ経済学Ⅱ	担当教員名	松田 慎一
科目群	社会科学 (SOC)		
科目区分等	経済	単 位	2
対象学年次	2年・春学期	ナンバリング	SOC222

授業のキーワード	財市場と金融市場、財政政策と金融政策
授業の概要	マクロ経済学は、一国の経済全体の活動を説明する学問です。財市場と金融市場、および財政政策と金融政策の仕組みを説明する予定です。マクロ経済学Ⅰを履修済みであり、その知識を前提に講義を進めます。
期待される学習成果 (目標)	1. マクロ経済学の考え方を理解できる。 2. 財市場や金融市場について説明できる。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	イントロダクション	授業概要の説明と、マクロ経済学とはどのような学問であるのか解説します。
2	マクロ経済学の復習	マクロ経済学基礎で扱った内容の復習をします。
3	有効需要と乗数定理 (1)	さまざまな乗数について解説します。
4	有効需要と乗数定理 (2)	さまざまな乗数について解説を行い、演習をします。
5	投資の理論 (1)	投資とは何か、何が投資を決める要因であるのか説明します。
6	投資の理論 (2)	第5講の続きです。
7	財市場の決定理論 (1)	IS曲線について説明します。
8	財市場の決定理論 (2)	第7講の続きです。
9	貨幣の需要 (1)	貨幣が需要される動機について説明します。
10	貨幣の需要 (2)	第9講の続きです。
11	貨幣市場の決定理論	LM曲線について説明します。
12	IS-LM分析 (1)	財市場、貨幣市場の均衡の決定について説明します。
13	IS-LM分析 (2)	第12講の続きです。
14	財政政策と金融政策	財政政策と金融政策が、マクロ経済学に及ぼす効果について説明します。
15	まとめ	この授業で解説した内容の総括を行います。

定期試験	授業内容に基づいた記述式の筆記試験を行う予定です。
授業時間外学習	授業にて作成したノートに基づいて参考文献等を読み直し、講義内容を整理することが望ましい。
評価方法	授業貢献度と課題を30%、期末試験を70%として総合点により評価します。
使用する教科書 (必ず購入してください)	必要に応じて資料を配布します。
参考文献	スティグリッツ・ウォルシュ『マクロ経済学』第4版 東洋経済新報社 中谷巖『入門マクロ経済学』第5版 日本評論社 平口良司・稲葉大『マクロ経済学』有斐閣